

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表								
事業所名		てらびあばけっと 広島宇品教室						
		公表日 令和7年11月20日						
		利用児童数 14名 回答数 12名 (兄弟利用1組)						
		チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。		10	1		1	・みんなで遊ぶスペースと個室があるので、良いと思います。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。		11	1			・十分だと思います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。		12				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。		12				・いつもきれいでされていると思います。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。		10	2			・その時に好きなキャラクターなどを使って色々と教えてもらっています。 ・言語聴覚士、理学療法士がいたら良いと思います。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。		12				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。		12				・5の回答のようにいろんなプロの方がいれば嬉しいですが、子どもに対応して作成してくださっています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。		12				
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。		12				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。		10	1		1	・色々な経験をさせてもらっています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。		5	3	1	3	・いろんな子ども達と交流があると嬉しいです。 ・交流の機会が設けれるように模索していきます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。		12				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。		12				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		11	1			・セラピー動画参考にしています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができると思いますか。		11	1			・毎回できていると思います。 ・これからも寄り添って対応していきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。		12				・都度相談できるので、助かります。 ・お困り事は一緒に解決できるようにしていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。		12				・よくほめてもらっています。 ・子どもに合わせて対応してくださってます。 ・どんなに小さなことでも必ず褒めて、良い行動が増えるようにしていきます。 ・これからもお子様に合わせた支援をしていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		4	2	4	2	・就学前の相談会は大変参考になり、小学校の支援級など理解できました。 ・保護者交流があると嬉しいです。 ・就学前相談会を実施しましたが、それ以外でも保護者の皆様が交流できる機会を設けて行きたいと考えておられます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることにについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。		12				・相談したことに対して、すぐに対応して下さるので助かります。 ・お困り事は早く解決できるように今後も対応していきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。		12				・問題なし。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。		10		1	1	・発信されています。 ・ホームページやInstagramで定期的に配信させていただいております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。		12				・問題なし。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。		10			2	・最初に説明がありました。 ・定期的に事故防止や緊急対応マニュアルなどは、確認していただけるように工夫します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。		4	1		7	・短期間しか通ってませんが、訓練はまだなかったです。 ・防災訓練は机上で実施しており、お子様の年齢合わせて一緒に訓練していきたいと考えております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。		10			2	・問題なし。 ・事業所で怪我などがないように職員に周知しております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。		11			1	・最初に説明がありました。 ・そのような状況になった事がないので、わかりません。 ・怪我などの事故が起った場合は、速やかに保護者の方に連絡します。

満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	12				・楽しそうに活動しているので、安心しています。	・笑顔で過ごしてもらえることを第一に考えて、支援させていただいております。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12				・行き渋ることなく楽しく通えます。 ・一緒に活動する友達の名前を家でも呼んでいました。 ・毎日次の通所日を楽しみにしています。	・事業所に来る事を楽しみにしている事は、職員一同とても嬉しい思います。これからも「てらびあ」に早く行きたいと言ってもらえるように一生懸命頑張ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12				・通って良かったと思っています。 ・いろんな活動をしてくださっているので満足です。 ・通所をはじめて子どもが目に見えて成長し、子育てが楽になりました。ありがとうございます。	・とても嬉しいお言葉いただきましたが、現状に満足せず、お子様の成長により貢献できるよう努めてまいります。

事業所における自己評価結果

公表						
事業所名		てらびあぽけっと 広島宇品教室				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4			
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4			
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		機能訓練室1室、個室3室、トイレ、職員室には、それぞれ名前を記載して提示しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		毎日営業終了後に掃除をしています。トイレも週2回や汚れがでた時にすぐに掃除しています。	これからも清潔な環境で過ごしていただくことを第一に日々取り組みます。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		お子様の通所に合わせて毎日支援内容や気づき・保護者様からの情報などを振り返り、情報共有しています。	これからも毎日支援内容の振り返りや気づきなど、保護者様からの情報も全員で共有し取り組んでいきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		前回、保護者会の要望がありましたので、就学前保護者相談会を実施しました。	保護者様のご意見を真摯に受け止め、要望に対してできる限り早く取り組めるように尽力します。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		会議時に職員の意見を確認し、選別したうえで意見を反映しています。	どんな小さなことでも意見を拾って、業務改善につなげています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4			フランチャイズ本部より、支援内容等の評価をもらい、業務改善に繋げています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		外部研修に参加できる機会を設けて、参加してもらっています。また、支援内容や病気等の知識も社内で勉強しています。	療育支援内容を中心に幅広い知識を身につけるために、外部研修の活用やフランチャイズ本部・社内勉強会を継続して実施していきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4			お子様と保護者様のニーズを客観的に分析し、支援計画書にしっかりと反映していきます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4			日々情報共有を行い、未来を見据えた支援につなげるようにしていきます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		支援内容を検討するうえで常に確認しています。	支援計画に則り現状も確認し、支援内容に反映していきます。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4			必要な支援を円滑に行えるようにデータやアセスメントを行い確認していきます。
	16	児童発達支援計画には、「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			家族支援に関して、ペアレントトレーニングや環境設定など個々に見合った支援が出来るように尽力します。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		毎回同じ内容にならないようにしています。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			毎朝1日のスケジュールや支援内容等を確認することを継続します。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		毎日通所児童の支援内容の振り返りや保護者様からの情報を共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		毎日通所児童の支援内容の振り返りや保護者様からの情報を記録し、共有しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行なう体制を整えているか。	4			地域の保健、医療機関とは連携する機会がなく、今後連携できればと考えております。

関係機関や保護者との連携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	相談支援専門員や生活支援員さんとも情報交換し、支援に反映しています。	幅広く関係機関と相互理解を図っていきたいと考えております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		ご希望に応じて対応していきます。また、支援内容を整備したデータを保護者様にお渡しできるように検討しています。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4		必要に応じて機会を設けたいと考えております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	通所されている児童に関しては、登園されている園で交流しています。	園に登園されていない児童に関しては、交流機会を設ける事ができていませんので、交流の機会を検討します。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	保護者様には、毎回お迎えの際に支援内容や気づき等を共有し、お家での取り組み方法等をお伝えしています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアメント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	保護者様には、フランチャイズ本部作成のペアトレの動画を紹介し、市役所等からの案内状を配布しています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		
保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	保護者様の送迎の際には、気になる事等を確認し、必要な提案や支援方法をお伝えしています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	1	就学前相談会を実施し、それぞれの就学予定の学校について交流を持ってもらいました。 兄弟同士で交流する機会は、検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	2	HPとInstagramで発信しており、保護者の皆様に周知していただけるようにいたします。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4	地域住民の方々とのイベントは検討していきたいと考えております。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		保護者の皆様に周知していただくよう案内していきます。
非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	食事やおやつなどの提供は、一切行っておりません。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	年2回研修を実施しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4		

事業所における自己評価総括表

公表				
○事業所名	てらぴあぽけっと 広島宇品教室			
○保護者評価実施期間		令和7年 9月 30日	～	令和7年 10月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数)	12 (兄弟利用1組)
○従業者評価実施期間		令和7年 9月 25日	～	令和7年 10月 11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 11月 12日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ABA（応用行動分析）による個別・小集団療育。 時間や活動プログラム等視覚カードを用いた支援。	フランチャイズ本部研修や外部研修を活用し、知識・スキルアップを図り、支援の質向上を目指して取り組んでいます。また、保護者やお子様・園の情報を職員全員ですぐに共有し、支援に繋げています。お子様が教室で何をして過ごすのかがわかるように視覚カードをすべての場面で用いています。	職員には、フランチャイズ本部研修や外部研修へ積極的に参加してもらい、知識・スキルアップ向上を図り、支援の質向上に繋げます。また、教室内は常に整理整頓と清潔な環境を維持し、通所を楽しみにしていただけるようにいたします。
2	ご家庭での困りごと等に対して、即日対応。	保護者様からは、ご家庭や園でのお困り事を何でもご相談いただけるようにしています。そして、お子様の特性に合わせた対応方法を提案しています。園への訪問依頼もあれば、すぐに対応しています。	ご相談は何でもしていただき、即日対応するため自己学習や職員1人1人が持っている知識を集約し、質の高い提案をしていきたいと考えています。
3	清潔で安全に楽しんで過ごせる環境の整備。	お子様が清潔な環境安全に過ごせるように毎日の清掃と整理整頓、柱のクッションなどクッションガードやトランボリン・三輪車などの遊具に不具合がないか随時確認しています。	毎日の清掃の際に柱や遊具に不具合がないか確認していく、安全かつ清潔な環境で過ごすための工夫を考えて、取り入れていく。
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	就学前保護者相談会は1回実施できたが、定期的に保護者会を開催できていない。	昨年からの課題ではあるが、教室のスペースの問題で、開催場所を教室以外で実施しなければならない事や保護者様の仕事などの都合も考慮すると日曜日開催となってしまう。また、職員の人数を増やすなければ、営業日に開催することは困難である。	まずは、通所時間中に2～名で開催できないかを検討していく。できなければ、2～3ヶ月に1回日曜日開催を検討していく。
2	通所児童と一緒に防災・火災・避難訓練ができるおらず、紙芝居を用いて説明しているに留まっている。	未就学児童の為、避難所に向かう事は幹線道路を通らなければならず、危険のリスクがある。	教室から出てすぐの道路まで抱っこするや一緒に手を繋いで歩く避難訓練実施を行います。
3	園や地域の中で他のお子様と交流する事ができない。	近隣の園や学童・放課後デイのお子様と交流の機会を当事業所から働きかけていない。	まずは近隣の園のお子様たちと交流が持てるような工夫を検討し、各施設に依頼していく。